

# 「東日本大震災とセーブ・ザ・チルドレン・ ジャパンによる復興支援」

—子ども参加によるまちづくり事業での活動を通じて—

スピーカー： 中村 悠(なかむら・はるか) 氏

セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン 東日本大震災復興支援事業部 職員

2011年3月11日に発生した東日本大震災は未曾有の津波被害や深刻な原発事故を引き起こし、日本のみならず世界に大きな衝撃を与えました。それから4年半が経過しました。復興支援は必ずしも思うように進まず、今も生まれ故郷や家族と離れ離れの生活を余儀なくされている被災者は少なくありません。

こうした負の側面がある一方、多くのボランティアが現地に駆け付け、復興支援に携わったことも知られています。日本で市民社会が成熟した証左だという指摘もあります。

本企画では、震災発生直後からボランティアとして現地入りし、現在も国際子ども支援 NGO、セーブ・ザ・チルドレン・ジャパンの職員として現地で復興支援に携わっておられる中村悠さんの目を通して、復興支援事業について語っていただこうと思います。



岩手県陸前高田市一本松(撮影・永井)

## 〔中村氏略歴〕

2005年4月 大阪市立大学法学部入学

2007年10月～2008年6月 アメリカ合衆国の  
独立非営利団体、Institute for  
International Cooperation and Development  
でボランティア活動

2008年6月～12月 モザンビーク共和国の NGO、  
Ajuda de Desenvolvimento de Povopara Povo  
が運営する小学校で語学教師としてボランテ  
ィア活動

2010年9月 大阪市立大学法学部卒業

2010年3月 公益社団法人 セーブ・ザ・チル  
ドレン・ジャパン インターン

2011年3月 同職員、現在に至る。

日時： 2015年12月17日(木) 16時30分～18時00分

\* 講演会終了後は中村さんを囲んで自由な懇親会を予定しています。

場所： 法学部棟4階740教室

入場料： 無料(法学会員以外の一般聴講も歓迎)

主催： 大阪市立大学法学部国際政治演習

\* 問い合わせ： 永井史男研究室(法学部棟902号室。内線：2310)